

百人一首 -お正月の遊び-

持統天皇と天智天皇



蝉丸と小野小町



当館所蔵の「[百人一首 \[像賛\]](#)」よりお正月の遊びとして有名な百人一首は、最近ではゲーム機のソフトに使われたり、嵐山には時雨殿という施設もあり、大変親しまれている古典のひとつです。

百人一首は正確には小倉百人一首といい、鎌倉時代の初めに藤原定家が宇都宮蓮生の依頼によって、万葉集から新古今集までの時代の歌人百人の和歌を一首ずつ集めて、別荘の障子にはった色紙が元と言われています。それがカルタになったのは江戸時代で、一般にも広く口ずさまれるようになりました。

ここに紹介したのはカルタではありませんが、江戸時代中期に刊行された書物で、その和歌と作者を想像した肖像を描いています。最近はお正月に百人一首のカルタをすることが少なくなりましたが、しばし百人一首を通じて古典の世界に遊んでみてはいかがでしょうか。

(「[総合資料館だより](#)」 No.166(2011年1月1日)より修正・転載)

(2017年1月4日公開)